みんなの気持ちを考えてみよう

作成日：2023/ 2 /28
対象児：ゆり組3歳児
作成者：小城亜矢子

ねらい：相手の気持ちを考えようとする。

振り返り

　年度末が近づき今年度の自分のドキュメンテーションを振り返っていると、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿のうち『道徳性・規範意識の芽生え』について目を向けてこれていなかったなと感じました。そこで、年少児にどう伝えていこうか考えた時、何か特別に話をしたり保育をしたりするのではなく、それは日々の生活の中で育つものだなと思いました。友達と一緒に園生活を送る中で、どんなふうに言ったらいいのかな、何をしたらお友達が嬉しいかなと考えながら行動することで、友達の気持ちに触れ自分の行動を振り返る事に繋がっています。「廊下は走ったら危ないよな」「(お皿を）ピカピカにしたら気持ちいいよね」「絵本を綺麗に返したら、他の子が見やすいよね」「スリッパをそろえたらきれい」等保育者が日頃から声かけしていたことを子ども達自身で意識するようになりつつあります。初めのうちは先生に褒めてもらえるからといった気持ちから始まったことかもしれませんが、次第に自分で考え行動しようとする姿が見られだし、充実感や満足感を味わっているところです。年少児にとって相手の気持ちを考えて行動することはまだまだ難しいと感じますが、相手の気持ちをわかろうとする姿を十分に認め、保育者も一緒に考えていきたいです。（道徳性・規範意識の芽生え、自立心）